

<子どもの発達段階に応じたLGBT教育のガイドライン>

2015.5. 23

遠藤まめた 作成

連絡先：nokolgbt@yahoo.co.jp

子どもたちの発達段階に合わせて、LGBTのことをどのように教えたらよいのかを考える参考資料として、アメリカ性情報・性教育評議会(SIECUS)による性教育ガイドラインをご紹介します(日本国内で該当する部分のみ抜粋)。

このガイドラインは性教育全般に関するものですが、その中に性的指向と性自認に関する下記の項目があります。子どもたちの発達状況にあわせて、この指針を参考とした授業展開を考えてみてもよいかも知れません。

① 性的指向について

<5歳～8歳の子どもへのメッセージ>

- ・人間は、違う性別の人を好きになることもあれば、同じ性別の人を好きになることもあります。
- ・ある人たちは異性愛で、異なる性別の人に惹かれ、恋愛感情を抱きます。
- ・ある人たちは同性愛で、同じ性別の人に惹かれ、恋愛感情を抱きます。
- ・同性愛の男性をゲイ、同性愛の女性をレズビアンと呼びます。
- ・どんな性別の人が好きでも、だれもが人間として尊重される必要があります。
- ・「ホモ」「オカマ」という言葉でだれかをからかうことは、その人を尊重せず傷つけるかもしれません。

<9歳～12歳の子どもへのメッセージ>

- ・性的指向とは、ある人が、身体的/恋愛的な意味合いで、同性に惹かれるのか、異性に惹かれるのかを表します。
- ・ある人たちはバイセクシュアルで、同性にも異性にも惹かれることがあります。
- ・性的指向はいろいろでも、みんなそれほど大きな違いはありません。
- ・性的指向は、私たちを構成している一部分です。
- ・性的指向がどのように決まるかは、はっきりわかっていません。
- ・自分がゲイ・レズビアン・バイセクシュアルであることを、ほかの人に話すのをためらう人がいます。その理由は、まわりの人から誤解されたり、馬鹿にされたりすることを恐

れるからです。

- ・ゲイ・レズビアン・バイセクシュアルの人たちも、異性愛の人たちと同じように、豊かで満たされた関係を作ることができます。
- ・ゲイ・レズビアン・バイセクシュアルの人たちも、子どもを持つことができます。

<12歳～15歳の子どもへのメッセージ>

- ・どの国や文化、身族、階級、宗教にも、あらゆる性的指向の人がいます。
- ・性的指向は、選べるものではありません。
- ・自分自身の性的指向を理解するのに、長い時間がかかることもあります。
- ・性的指向がどのように決定されるかについては、いろいろな説があります。遺伝、胎児期に受けた影響や社会・文化から受ける影響、心理・社会的要因によって決まるとの説や、これらの要因が組み合わさって決まるとの説があります。
- ・性的指向は心理療法や薬によって変えることはできないということが、多くの研究によって結論づけられています。
- ・性的指向について話題にすることに、困難を感じる人たちもいます。
- ・自分の性的指向について疑問のある10代の方は、信頼できる知識のある大人に相談しましょう。
- ・ある人が性的指向というものをどう捉えるかは、その人の宗教や・文化的な価値観・家族観によります。
- ・ゲイ・レズビアン・バイセクシュアルの人が、ほかの人に自分の性的指向について話すことをカミングアウトといいます。
- ・時折、本人の同意なく、ある人の性的指向がほかの人に語られてしまうことがあります。このことをアウトティングといいます。
- ・カミングアウトすることやアウトティングされることには、しばしば困難が伴います。ネガティブな反応を恐れたり、実際にそのような反応に出会ったりするためです。
- ・異性間でも同性間でも、行われるセックスに大きな違いはありません。
- ・同性に対する性的な空想を持ち、あるいは同性との性的な体験をしていますが、自分のことをゲイ・レズビアン・バイセクシュアルだとは考えない人もいます。
- ・異性に対する性的な空想を持ち、あるいは異性との性的な体験をしていますが、自分のことを異性愛者だとは考えない人もいます。
- ・性的指向について話したいときには、若者向けの電話相談機関やサポート団体があります。
- ・インターネット上のサイトのいくつかはゲイやレズビアン、バイセクシュアルや異性愛者の人たちがコミュニティに参加するためのよい機会を提供し、仲間やサポートにつないでくれるでしょう。
- ・その一方で、インターネット上の情報は間違っていることもあります。

・チャットや、ネットで知り合った人とリアルで会うことは楽しいかもしれませんが、安全ではないこともあるので注意しましょう。

<15歳～18歳の子どもへのメッセージ>

・性的指向は、誰にどのように惹かれるか、どのような性的なファンタジーを抱くか、どんな性行為を行うか、という複数の要素から構成されます。

・自分自身の性的指向に対する捉え方やあり方は、一生を通じて変わることがあります。

・もしあなたやあなたの知り合いが性的指向に関することで、からかいやいじめ、脅迫や暴力、ハラスメントを受けたときは、信頼できる大人や学校の責任者、法律家に相談することが大切です。

・あなたの学校のいじめ／ハラスメントに関する方針は以下の通りです。(記入して下さい。)

(
)

② 性自認について

<9歳～12歳の子どもへのメッセージ>

・生物学的な性とは、ある人の性器や性染色体が、生物学的にオスかメスか、ということを表します。

・性自認とは、ある人が自分自身を男性だと思うか、女性だと思うか、その両方の混ざりあったものだと思うか、といった内的な感覚を表します。

・性自認は、その人が何者なのかをあらわす一部の要素です。

・性役割(ジェンダーロール)は、生物学的な性によって、その人がどう振る舞うべきなのかを決めています。

・生物学的な性に典型的な振る舞いをしていないからといって(男らしくない、女らしくないからといって)だれかをからかうことは、その人を尊重せず傷つけることです。

<12歳～15歳の子どもへのメッセージ>

・ほとんどの人は、生物学的な性と性自認とが一致しています。

・性自認と生物学的な性とが異なっている人もいます。

・性自認がどのように決まるかはわかっていません。

・性自認は、性的指向とは違います。

・トランスジェンダーとは、生物学的な性に基づいて社会が期待してくる「らしさ」と、

自分の性自認とが、一致しない人々のことをいいます。

- ・性自認は変化することもあります。
- ・トランスジェンダーの人の中にはホルモン治療や手術を行い、身体を性自認に合わせようとする人たちがいます。
- ・どの社会や文化の中にもトランスジェンダーの人はいます。
- ・世界の中には、トランスジェンダーの人を認識し、伝統的に特別な役割を持たせる文化もあります。
- ・性自認について話題にすることに、困難を感じる人たちもいます。
- ・自分の性自認について疑問のある 10 代の方は、信頼できる知識のある大人に相談しましょう。
- ・性自認について話したいときには、若者向けの電話相談機関やサポート団体があります。
- ・インターネット上には性自認に関する膨大な情報がありますが、不正確なものもあります。
- ・インターネット上のサイトのいくつかはトランスジェンダーの人たちがコミュニティに参加するためのよい機会を提供し、仲間やサポートにつないでくれるでしょう。
- ・チャットや、ネットで知り合った人とリアルで会うことは楽しいかもしれませんが、安全ではないこともあるので注意しましょう。
- ・トランスジェンダーであることを打ち明けてひどい目にあいたくないと、そのことを黙っている人たちもいます。
- ・もしあなたやあなたの知り合いが性自認に関することで、からかいやいじめ、脅迫や暴力、ハラスメントを受けたときは、信頼できる大人や学校の責任者、法律家に相談することが大切です。
- ・あなたの学校のいじめ／ハラスメントに関する方針は以下の通りです。（記入して下さい。）
()

<15 歳～18 歳の子どもへのメッセージ>

- ・すべての人は、自分の性自認を表現する権利を持っています。
- ・性自認についての社会の認識や理解が深まるにつれ、トランスジェンダーの人たちはより受け入れられ、ハラスメントや暴力を受けることは減るでしょう。